



# 華となれ

宮城県仙台二華中学校  
 令和6年度学校だより 第12号  
 【発行日】 令和6年11月6日  
 【連絡先】 022-296-8101  
 【文責】 副校長 武田 誠

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

※題字「華となれ」には、社会に貢献できる真のリーダー（華=社会の中心）となってほしいという願いを込めています。

## 中3生が研修旅行に行ってきました

今年度の中3研修旅行は10月21日（月）～25日（金）までの4泊5日で実施しました。二華中学校の研修旅行は、コロナ以前は海外で実施した年もありましたが、世界に羽ばたく二華生たちだからこそ、日本国内の歴史と共に、唯一の被爆国の国民として平和について現地で深く学ぶ目的から、広島・京都方面で実施しています。

今年度は以下のような行程で研修してきました。



- 1日目 仙台駅集合・出発 → 新幹線で広島到着 → 広島市での平和学習  
 【平和学習の内容：現地ガイドによる平和記念公園案内、被爆者による講話、平和資料館見学】
- 2日目 安芸の宮島での自主研修 → 新幹線で京都へ → 天性寺で舞妓鑑賞・質問・記念撮影
- 3日目 京都大訪問（農学部教授による講義、京大生による研究室・校地案内・時計台前記念撮影）  
 → 京料理「鳥米」にて“だし文化”についての講話と昼食  
 → クラス別研修(A組：松尾大社見学と藍染体験、B組：家紋染体験と京都水族館見学、C組：和菓子作り体験と貴船神社見学)
- 4日目 京都・奈良での自主研修（終日）
- 5日目 平等院見学 → 伏見稻荷見学 → 京都駅から新幹線で帰仙

毎日が充実したスケジュールで、どの日も非常に濃密な学びがあり、正に「百聞は一見に如かず」との声が聞かれました。壮大で絢爛な歴史的建造物に宿る日本人ならではの繊細な伝統技術と知恵。京料理に学んだ自然の恩恵を最大限に生かした「だし」文化の神髄。被爆者や現地ガイドさんから託された平和への願い。自分たちの興味・関心に基づき訪れた訪問先での学びなど、この5日間で得たものを、今後しっかりと整理し直し、自分のものとしていく作業を続けます。

保護者の皆様には、長期間にわたる研修旅行に御理解御協力をいただきまして誠にありがとうございました。御心配な点もあったことと思いますが、子どもたちの逞しい表情や体験を語る姿から、個々の変化と成長を感じます。今後、課題研究などで研修旅行での生徒の学びを披露する機会がございますので、どうぞお楽しみにしててください。

### 広島での平和学習

1日目

安らかに眠って下さい  
 過ちは くり返しませんから



2日目



舞妓鑑賞



安芸の宮島



3日目



京大訪問



鳥米



藍染め



5日目



百聞は一見に如かず  
百見は一考に如かず  
百考は一行に如かず

しっかり見てきたことについて、じっくり考え、学んだことを行動に移して自分のものにしていきます。

Hotel tou の食事も旅の思い出に